

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙



# FUTABA N O W A

## ふたばのわ

Vol.145

2025.11.15



### スポーツでつながる笑顔

双葉町町民体育祭 ..... P.2

令和7年度 双葉町敬老会 ..... P.3

ふたば星空夜市  
第8回 彼岸花を愛でる会 ..... P.4

### 今月の表紙

今月の表紙は、第59回 双葉町町民体育祭に参加した子ども達による、選手宣誓の様子です。

子ども達は元気いっぱいに手を上げ、競技に取り組むことを誓いました。

P.2にて、当日の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。



9月27日、「第59回 双葉町町民

体育祭」を開催しました。町内や避難先から多くの方々が集まり、昨年を上回る約200人が参加。久しぶりに顔を合わせ、「大きくなつたね!」「この優勝旗懐かしいね」と笑顔で言葉を交わす町民の姿も見られました。

当日は赤・黄・青・緑・紫の5つのチームに分かれ、優勝を目指して競い合いました。晴天の下、チーム全員でボールをリレーのようにつなぎ、「キャッチング

ボールむかで」や、フラフープでボールを引いて進む「ボールとさんぽ」、目隠しをした人を声で誘導して水を運ぶ「初期消火」など、息を合わせて挑む種目が行われました。午後は「宝拾い」「ボウリング」「玉入れ」といった、幅広い世代が楽しめる種目が続き、中でも最後に行われた「玉入れ」では、これまでの種目で培ったチームワークを活かし、お互いに力を合わせて玉を投げ入れる姿がありました。

会場は終始笑顔に包まれ、年齢を問わず交流が生まれる、温かくにぎやかな体育祭となりました。



ボールとさんぽ



宝拾い



玉入れ



キャッチングボールむかで



初期消火



ボウリング



双葉中学校 三年生  
富士田 凜桜奈さん

今回初めて体育祭に参加しましたが、無理なく体を動かすことができ、とても楽しかったです。会場に響く町民のみなさんの声援が温かく、とても印象に残っています。

このような行事があると知り、双葉町に関わることがますます楽しみになりました。今後もぜひ町民の方々と一緒に、さまざまなイベントに参加してみたいと思います。



今年の優勝は黄色チーム!

# 令和7年度 双葉町敬老会

9月12日、いわき市の八幡台や  
またまやで「令和7年度双葉町敬  
老会」を開催しました。埼玉県の加  
須市をはじめ、避難先から108人  
の町民が参加しました。年に一度、  
懐かしい顔ぶれが一堂に会する貴重  
な機会とあって、会場は和やかな  
雰囲気に包まれました。

当日は、伊澤町長が式辞を述べ、  
岩本議長をはじめとした来賓から  
の祝辞が寄せられました。参加者  
からは「こういった会やイベントに  
参加するのは久しぶりで嬉しい」  
「昨年の敬老会以来に集まれた、楽  
しみにしていた」との声が聞かれま  
した。

続く昼食交流会では、お祝いの  
膳を囲み、思い出話に花を咲かせて  
いました。ふるさとの仲間と語らう  
特別な時間を堪能し、別れ際には  
「またね」と再会を約束していました。



# ふたば星空夜市

8月28日と29日の2日間、双葉町

産業交流センターで「ふたば星空夜市」が初開催され、仕事帰りの町民など多くの人でにぎわいました。

このイベントは、音楽イベント「ふたばの声」と飲食・交流イベント「ふたば飲み」がひとつになり、さらに映画上映企画「ふたばシネマ」も加わった新しい催しです。音楽・グルメ・映画を一度に楽しめる場として生まれ変わりました。

会場にはカレー・ピザ・クレープなどの出店が並び、訪れた人々はでてきた料理を味わいながら会話を楽しんでいました。

主催者の一人である山本敦子さんは、このイベントについて、「町民の方だけ、町外の方だけでは実現できないイベントです。イベントを通して一緒に双葉町を盛り上げ、このイベントが多く人の交流の場になつてほしいです」と語っていました。

初開催ながら大盛況となつた「ふたば星空夜市」。町に新しいにぎわいをもたらすイベントとして、今後の展開にも期待が高まります。

を楽しんでいました。

主催者の一人である山本敦子さんは、このイベントについて、「町民の方だけ、町外の方だけでは実現できないイベントです。イベントを通して一緒に双葉町を盛り上げ、このイベントが多く人の交流の場になつてほしいです」と語っていました。

この会は、震災当時の細谷区長・大橋庸さんが区内の彼岸花を川俣町へ移植したことから始まり、町民の手で8年間守り続けられています。今では秋の恒例行事となりました。その思いを受け継ぎ、今年の会を主催したのが現区長の田中信一さんです。田中さんは、「細谷地区の彼岸花をきっかけに、交流の輪が広がっていくのが嬉しい」と話します。花を愛で、町民と再会を喜び合う時間を大切にしながら、地域の方と協力して彼岸花の手入れも欠かさず続けています。「せっかく始まつた取り組みなので、これからも多くの人と出会い、つながる場として続けていきたい」と今後への意気込みを笑顔で語りました。

彼岸花が咲く季節に集う人々の姿には、町の過去と今、そして未来をつなぐ温かな想いが息づいていました。



## 第8回 彼岸花を愛でる会



### 町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認いただけます。  
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから  
ご覧ください。→

